



## &lt;市町村探訪1&gt;

## 「水戸市におけるまちづくりの取り組みについて」 子育て支援・多世代交流センター 『わんぱーく・みと』がオープンして（水戸市）

### 【わんぱーく・みとがつくられた経緯】

水戸市は、平成16年3月に「水戸市次世代育成支援対策行動計画」を策定いたしました。この行動計画を策定するに当たって、市民5,000人を対象にニーズ調査を行い、その中でも特にニーズの高かった、中核的子育て支援センター事業の推進を重点推進項目といたしました。

さらに、平成17年には「水戸市第5次総合計画リーディングプラン」において、子どもが遊び、人がふれあうをコンセプトとして子育て支援・多世代交流拠点の形成を目指すことになりました。

また、施設の建設に当たっては基本設計・実施設計を行う中で、一般公募により委員として参加している市民の方を含む「子どもにやさしい街づくり推進会議」のご意見等を建設に反映させながら、平成19年4月にわんぱーく・みとがオープンいたしました。

創出や、少子・高齢化社会に対応した福祉のまちづくりを目標に、子育て支援を中心とし、子どもから高齢者までが交流する多世代交流の拠点施設として誕生しました。さらには、多世代との交流を図りながら子どもの育成を促進する場として整備されたものです。

- ・敷地面積 1,496.54㎡
- ・建築面積 586.59㎡
- ・延床面積 952.37㎡
- ・鉄筋コンクリート2階建

1階は、「親子交流のフロア」として位置づけて、主に小さなお子さんを対象とした遊び場としての「プレイルーム」、また、子育て中の保護者同士が自由に集いお話しのできる「子育て交流サロン」、乳幼児を一時的にお預かりする「一時預かり保育室」、育児不安についての個別の相談を受けられる「育児相談室」や、「授乳室」、「事務室」が、配置されています。



わんぱーく・みと



プレイルーム



一時預かり保育室

基本・実施設計	平成17年度
建設工事	平成18年度（6月～3月）
開設	平成19年4月10日

### 【まちづくり交付金の活用】

この施設は、国土交通省所管の「まちづくり交付金」を活用し、中心市街地におけるまちの賑わいの



2階は、「伝承・交流のフロア」として位置づけて、遊び場としての利用のほか、運動などで多世代が交流できる場所としての「遊戯室」や、小学生を対象とした学習や読書の場としての「児童室」、また、わんぱく・みとでの自主事業としての講習会等を行う「多世代交流サロン」や、親子で工作や調理を行う「工作・調理室」が、配置されています。



遊 戯 室



多世代交流サロン

### 【開設時間等】

- ・開館日 火曜日から日曜日  
(月曜日・祝日・年末年始は休館)
- ・開館時間 午前8時30分～午後5時15分

### 【利用状況】

「室内の公園」というイメージでオープンして、10カ月がたち、現在の利用状況は、

- ・登録者 11,797人
- ・延べ利用者 45,913人

(平成20年2月末日現在)

で、1日平均170～180人の利用者があります。

これは、当初の予想を大きく上回るものであり、親子で遊ぶ子育て施設のニーズの高さが伺われます。

さらに毎月各種講座を開催するなど、子どもを中心に保護者や、おじいさん、おばあさんが触れ合い、交流できる機会の提供を図っております。



12月に行われた100人サンタ大集合のイベント

また、保護者の育児にかかる不安や負担の軽減を図るために、育児相談や一時預かり保育を行っています。育児相談は、看護師を配置して保護者の育児に関する様々な相談を受けています。一時預かり保育は、午前9時～午後5時までの間で、未就学のお子さんをお預かりしており、1日平均4人の利用があります。

### 【今後の展開】

今後は、中核的な子育て支援施設である「わんぱく・みと」を第一歩として、様々な多世代交流事業の実践を行うとともに、市民センターをはじめとした各地域の公共施設を拠点として展開していく子育て支援活動、高齢者支援活動などの多世代交流事業についても、連携を図るなど、多世代交流の推進に努めてまいります。

### 【お問合せ先】

水戸市保健福祉部子ども課

子育て支援・多世代交流センター

TEL：029-303-1515

E-mail：child.sien@city.mito.lg.jp